OMRON

ME5614C2

取扱説明書

VIAGGIO

OMRON

取扱説明書

FAX/DATA モデムカード

ME5614C2

●はじめに

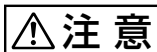
この度は、**オムロンPCMCIAモデムカードME5614C2**をお買い上げいただき、有り難うございます。
インターネットで通信したり、パソコン同士の通信やパソコンとFAXの間で、文字、画像情報の交換をすることもできます。
本モデムを使用することにより、最高速度56000bps（33600bps以上は受信のみ）までの通信速度で通信することができます。
この取扱説明書では本モデムの取扱方法や、注意事項を説明していますのでお使いになる前に必ずお読みになり、充分に理解してください。
また、必要な人が何時でも見ることができるように、モデムの近くに置いてご使用ください。

◇取扱説明書の読み方

最初に、安全上のご注意について記載していますので、全ての方にお読みいただき、正しくご使用ください。最初に本取扱説明書を読んで、ME5614C2の使い方を理解してください。

- **「安全上のご注意」**では、ご使用いただく上での、安全上の注意事項が書かれていますのでME5614C2を使用される方は全員お読みください。
- **「何から始めればいいの」**では、パソコン通信やインターネットを始めるまでの手順を示しています。
- **「準備をする」**では、開梱等の方法について記載しています。
- **「セットアップをする」**では、モデム設定ファイルのインストールと各種設定について記載しています。
- その他に、**「ATコマンドの基本」**と初心者の方のために**「お困りのときには」「用語の説明」「仕様」**等を記載しています。
- 本取扱説明書をご理解いただければ、基本的なネットサーフィンや電子メール及びFAXの送受信等ができるようになります。インターネットやパソコン通信は他にもいろいろな楽しみ方があります。多数の参考書が市販されていますので、ご活用いただければ幸いです。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◇安全上のご注意

⚠注意　誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

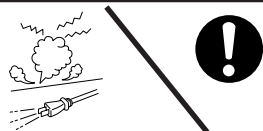
：禁止（してはいけないこと）を示します。

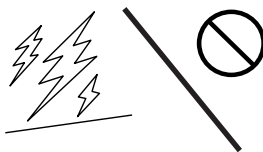
：強制（必ずしなければならないこと）を示します。

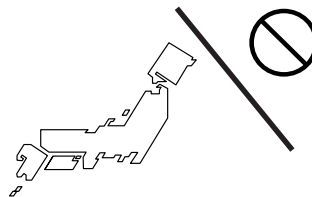
なお、注意、禁止に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

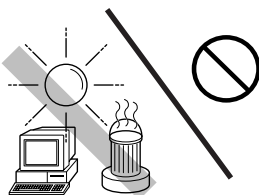
⚠注意

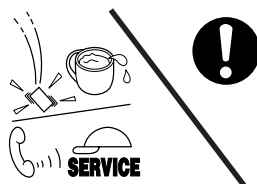
本モデムから異臭、異音、煙が発生したときは、パソコンの電源スイッチを切りACプラグを抜き、本モデムをパソコンから引き抜いてください

- 火災の原因になることがあります。

雷が発生したときは、電源ケーブルや電話回線のケーブルには手を触れないでください

- 感電の恐れがあります。

本モデムは日本国以外で使用しないこと

- 本モデムの仕様は日本国内向けになっており、海外での許認可等は受けておりませんので、海外ではご使用いただけません。
- 海外で使用されますと、電圧、使用環境が異なり、本モデムの破損、発煙、発火のおそれがあります。
- This modem can be used Japan only and can not be used any other country.

この取扱説明書に記載されている周囲環境条件から外れた使用、保管は絶対しないでください

- 本モデムの故障、破損などによって、発煙、発火の可能性があります。
  下記の環境には特にご注意ください。
  - ・自動車内等の直射日光の当たる場所
  - ・高温下や発熱する器具の近く
  - ・極端に湿度の高い場所
  - ・埃の多い場所
  - ・油煙の当たる場所
  - ・衝撃を受けたり振動が加わるような不安定な場所
  - ・水などがかかりやすい場所

下記のような事故が発生したら、必ず当社周辺機器修理センタ（TEL:03-3436-7213）へ修理、点検を依頼してください

- そのまま使用されると、重大事故が発生する可能性があります。
  - ・60cm 以上の高さから落下させてしまったとき
  - ・水やコーヒーなどの液体をかけてしまったとき

接続したケーブル等に手足や物を引っ掛けないようにしてください

- 怪我をする恐れがあります。
- 本モデムや本モデムを接続した機器を破損する可能性があります。

感電防止のためモジュラジャックに指を入れないこと

留意事項

本モデムの用途について

- 本モデムは、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。医療機器や幹線通信機器、電算機システムなどの極めて高い安全性、信頼性が要求される用途には使用しないでください。

雷による障害について

- 本モデムは、雷などにより発生し、電話回線から入り込むサージ電圧(瞬間的な電圧異常)から本機を保護する回路を内蔵しておりますが、より高い保護効果をお望みの場合は、パソコンショップ等で市販されている雷サージ保護装置を併用されることをお奨めいたします。
なお、当社のバックアップ電源は上記の雷サージ保護装置を内蔵しておりますので、ご使用いただきますと停電対策及び雷サージ対策の双方に効果を発揮します。
ただし、雷サージ保護装置や当社のバックアップ電源をご使用の場合でも、雷の状況によってはモデムの故障などの障害が発生する場合があります。
近くで雷が発生した場合は、雷が収まった後に、本機が正常に動作するか確認されることをおすすめします。
万一の故障の場合は、当社周辺機器修理センタ(TEL: 03-3436-7213)が修理を承っております。
なお、雷などの天災による故障の場合は、保証期間内であっても有償修理となりますのでご承知ください。

本モデムの故障・誤作動、停電あるいは天災等によって本モデムが使用できなくなった場合、それに生じる損害(通信等上生じる機会損失等)に対しては、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

長時間無人で使用する場合は、正しく作動していることを必ず定期的に確認してください。

本モデムを拭く場合、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤や化学雑巾などで拭くと変形や変色する恐れがありますので、石鹸水や水にひたして良く絞った布で拭いてください。

本モデムは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本モデムは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本モデムがラジオ、テレビに接近して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。受信障害が発生した場合は、本モデムをラジオ、テレビから離してご使用ください。

本モデムは 法律(輸出貿易管理令、外国為替令)の規制の対象となります。本モデムを海外に持ち出される(輸出)場合は、当社カスタマサポートセンタ(TEL : 0120-77-4717)にお問い合わせください。お問い合わせの際、本モデムの製造番号が必要です。製造番号は、本製品に貼付のシールに記載しております。

キャッチホンの回線で本モデムを使用されますと、割り込みの呼出音によってデータが乱れたり回線が切断されることがあります。なるべくキャッチホンの契約をしていない回線でご使用ください。

本モデムはNTTの電話回線と電気的条件が異なる通信回線では、使用できません。（ボタン電話、キーテレホン、ホームキーテレホン、家庭用キーテレホン等）一般の家庭用の電話回線（ダイヤル式やプッシュ式電話）は、そのまま接続できます。接続する前に電話装置メーカや保守業者に、ご相談ください。

本モデムはPBX内線に直接接続して使用する場合、回線の電気的条件がNTTの電話回線と同じでなければ動作しません。本モデムは、極性反転がない回線にも接続できるように設計されていますが、呼出信号の電圧や周期、ダイヤルトーンやビジートーンなどについては、NTTの仕様に準拠しています。従ってこれらの仕様がNTTの回線と極端に異なる場合には、これらの信号を認識できないことがあります。詳しくは、PBXの製造メーカや保守業者に問い合わせてください。

付属のドライバソフトは下記に注意して、ご使用願います。

- 万が一の事故に備えて、バックアップコピーをしておいてください。
- 本ドライバは日本国著作権法により、お買いあげ頂いた方のみに使用を許諾するものです。
- 第3者に譲渡はできますが、上記の条件に同意頂いた方のみに、使用の許諾をするものです。
- 本ドライバの最新性、使用したときの成果の的確性、正確性、信頼性等に関しての保証はしません、成果や機能についてのリスクは全て購入者（使用者）が負担していただくことになります。

付属のCD-ROMは下記を守って使用してください。

- 表面に傷をつけない
- 表面を触らない
- 折り曲げない
- 高湿、高熱、直射日光、埃のなかで保管しない

通信中にパソコンの電源が切れたりモジュラケーブルを外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。

- 重要なデータは元データと照合してください。
- 送信先番号を間違うと、目的のところへ送信されません、良く確認して送信してください。
- 通信中に停電やパソコンの入力電圧が瞬間的に低くなりパソコンの電源が切れたりするような場合が発生した時は、弊社製品のバックアップ電源装置（BU/BXシリーズ）をパソコンに接続してご使用されることをお薦めいたします。

送出レベルの設定方法

ATS91=n (10 ～ 15) でデータ通信の送出レベルを変更することができます。n=11 にした時、送出レベルは -11dBm、n=15 にした時、送出レベルは -15dBm に設定されます。初期値は n=15 です。
ATS92=n (10 ～ 15) で FAX 通信の送出レベルを変更することができます。n=11 にした時、送出レベルは -11dBm、n=15 にした時、送出レベルは -15dBm に設定されます。初期値は n=15 です。

変更するレジスタ	S91（データ通信）	S92（FAX通信）
初 期 値	15 (-15dBm)	15 (-15dBm)
最 大 値	10 (-10dBm)	10 (-10dBm)
最 小 値	15 (-15dBm)	15 (-15dBm)

****

地球環境負荷を減らすために以下のことにご協力ください

◇環境上のお願い

本モデムおよび付属品は不燃物として処分してください。

- 廃棄方法は、各居住区で定められている分別収集方法に従ってください。
- 家庭で一般ゴミとして焼却すると､ダイオキシンや塩化水素ガス等が発生して環境や人体に悪影響を与えます。

Microsoft®, Windows®, WindowsNT®, Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
Hayes は米国 Hayes Microcomputer Products Inc. の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
本モデムを使って、運用した結果については責任を負いかねますのでご了承ねがいます。

●目　次●

目　次

目　次

●何から始めればいいの

Windows®Server™2003/XP/2000の場合

付属品や各部の名称を確認する　**17～18ページ**

↓

使用している電話回線の種類（トーン又はパルス）を確認する　**21ページ**

↓

電話回線への接続　*この時PCカードはパソコンに挿入しません。　**22ページ**

↓

STEP1 ドライバをインストールする

Windows®Server™2003/XP　25～31ページ

Windows®2000　32～36ページ

↓

STEP2 ダイヤルアップネットワークを設定する　**37～40ページ**

↓

FAX・パソコン通信など
お楽しみください。

↓

STEP3 インターネットへ接続する　**41～43ページ**

インターネットなど目的に合わせて
お楽しみください。

何から始めればいいの

Windows®Me/98/95の場合

付属品や各部の名称を確認する　**17～18ページ**

使用している電話回線の種類（トーン又はパルス）を確認する　**21ページ**

電話回線への接続とパソコンへの接続　**22ページ**

STEP1 ドライバをインストールする

Windows®Me	**44～46ページ**
Windows®98	**47～51ページ**
Windows®95	**52～55ページ**

STEP2 ダイヤルアップネットワークを設定する　**56～59ページ**

FAX・パソコン通信など
お楽しみください。

STEP3 インターネットへ接続する　**60～61ページ**

インターネットや目的に合わせて
お楽しみください。

何から始めればいいの

WindowsNT®4.0の場合

付属品や各部の名称を確認する　17～18ページ

↓

使用している電話回線の種類（トーン又はパルス）を確認する　21ページ

↓

電話回線への接続　22ページ

↓

STEP1 パソコン、WindwosNT®4.0の状態を確認する　62ページ

↓

STEP2 ME5614C2の挿入とWindowsNT®4.0へのログオン　62ページ

↓

STEP3 モデムドライバをインストールする　62～65ページ

↓

インターネットやFAX・パソコン通信など
目的に合わせてお楽しみください。

何から始めればいいの

Windows®CEの場合

付属品や各部の名称を確認する　17～18ページ

使用している電話回線の種類（トーン又はパルス）を確認する　21ページ

電話回線への接続とパソコンへの接続　22ページ

STEP1 ドライバをインストールする　66ページ

FAX・パソコン通信など
お楽しみください。

STEP2 リモートネットワークを設定する　66～67ページ

STEP3 インターネットへ接続する　68～69ページ

インターネットなど目的に合わせて
お楽しみください。

何から始めればいいの

Windows®CE Windows®Powered Pocket PC /Pocket PC 2002 の場合

付属品や各部の名称を確認する　**17～18ページ**

使用している電話回線の種類（トーン又はパルス）を確認する　**21ページ**

電話回線への接続とパソコンへの接続　**22ページ**

STEP1 ドライバをインストールする　**70ページ**

FAX・パソコン通信など
お楽しみください。

STEP2 インターネットに接続するための設定を行う　**70～72ページ**

STEP3 インターネットへ接続する　**73～75ページ**

インターネットなど目的に合わせて
お楽しみください。

何から始めればいいの

Macintosh(Mac OS8.1～9)の場合

付属品や各部の名称を確認する　**17～18ページ**

↓

使用している電話回線の種類（トーン又はパルス）を確認する　**21ページ**

↓

電話回線への接続とパソコンへの接続　**22ページ**

↓

STEP1 ドライバをインストールする　**76～78ページ**

↓

FAX・パソコン通信など
お楽しみください。

↓

STEP2 リモートアクセス(PPP)とTCP/IPを設定する　**79～82ページ**

↓

STEP3 インターネットへ接続する　**83～85ページ**

↓

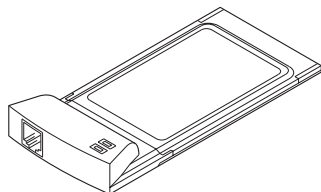
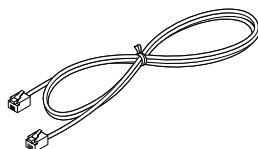
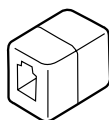
インターネットなど目的に合わせて
お楽しみください。

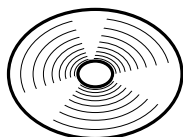
●準備をする

インターネットをするためには、パソコン、モデム、ブラウザ（ホームページ閲覧ソフト）、モジュラケーブルが必要です。本取扱説明書では機器の確認から接続までについて説明しています。

◇付属品の確認をする

本モデムの外観に損傷はないか、付属品はすべて揃っているか確認してください。万が一不具合があるときはお買い上げの販売店へすぐにご連絡ください。

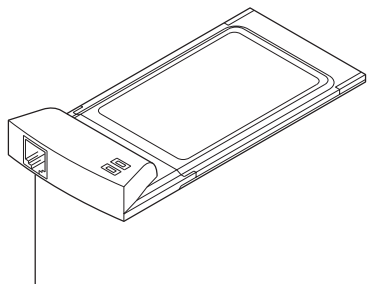
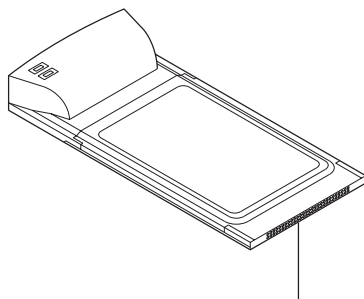
●PC カードモデム
ME5614C2

●モジュラケーブル

●モジュラケーブル用延長コネクタ

[ソフトウェア]

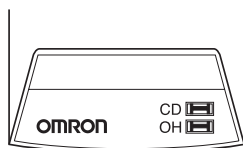
● ME5614C2
モデムドライバソフト

CD-ROM

[取扱説明書、書類]

●取扱説明書（本書）
●保証書 / ご愛用登録カード

◇各部の名称を確認する

●モデム本体

モジュラケーブル接続用コネクタ　　PCカードスロット接続用コネクタ

●LED表示

CD（キャリア検出）：相手モデムからのキャリア検出時に点灯
AT&C0設定時は常時点灯
OH（オフフック）：オフフック（受話器を上げた状態）時に点灯

◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する

●プロバイダ情報

インターネットに接続するには、加入されたプロバイダから与えられた次の情報が必要です。設定の際に必要になりますのでお手元に置いておいてください。

①ドメイン・ネーム（例：XXX.XXXXXX.or.jp）
②ドメイン・ネーム・サーバIPアドレス（例：123.121.78.221）
③ 接続アカウント（例：umw11122）
④ 接続パスワード（例：DdcjHbkk）
⑤ アクセスポイントの電話番号

詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。
プロバイダにまだご加入でない場合は、市販の書籍などを参考にしてご加入ください。

●インターネット接続ソフトウェア

[Windows OSをご利用の方]
OSに標準で準備されているインターネット接続ソフトウェアを使用します。
Windows®Server™2003/XPは、「ネットワーク接続」、Windows®Me/98/95/NT®4.0は「ダイヤルアップネットワーク」、Windows®2000は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」を使用します。
インストールされていない場合は、お手持ちのOSのシステムCD-ROMからインストールしてください。

[Macintosh OSをご利用の方]
Mac OSに標準で装備されている「リモートアクセス」を使用します（Mac OS8.1は「Open Transport PPP」を使用します。）。「リモートアクセス」を使用する設定がされていない場合は、機能拡張マネージャで、使用するよう設定してください。Mac OSのバージョンによっては機能拡張がない場合もあります。機能拡張マネージャがない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMから「リモートアクセス」または「Open Transport PPP」機能拡張ファイルをインストールしてください。

●接続を確認する

◇電話回線で使用する

●電話回線の種類を確認する

電話回線にはトーン（プッシュ）式とパルス（ダイヤル）式があります。
ご使用の電話回線がどちらなのかを確認するには、実際に時報（117）に電話してみて、受話器から聞こえる音によって確認できます。

■ 117に電話して、受話器から
ピッポッパッと電子音がするときはトーン（プッシュ）式です。
カチッカチッと機械音がするときはパルス（ダイヤル）式です。

■ パルス（ダイヤル）式の電話機はダイヤル速度を切替えられるようになっています。
電話機の裏面または側面に10ppsと20ppsの切替えスイッチがついています。
そのスイッチを切替え「カチッカチッ」という音が速くなる方が20ppsです。

留意事項

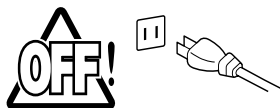
- ppsとは1秒間に何パルスの信号を送るかという単位です。
- 通信ソフトの中で、電話回線の種類がトーンかパルスかを設定するようになっています。この設定が電話回線と異なると通信できません。ダイヤル速度が良くわからないときは10ppsを選んでいただくと発信できます。

◇電話回線、パソコンの接続方法

ここでは、接続方法の確認のみを行います。実際の接続は、「◇STEP1 ドライバをインストールする」以降で行います。

1 パソコンの電源を切ってください。

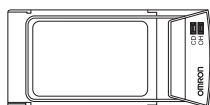
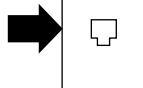
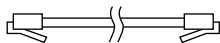
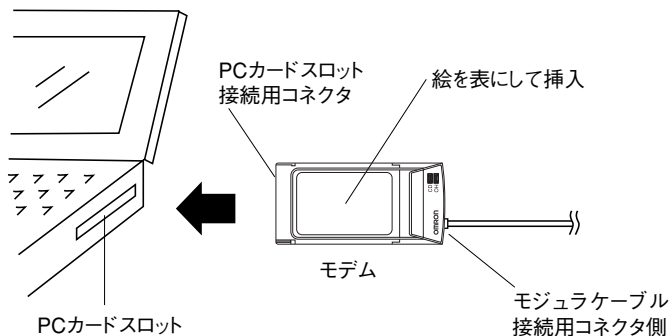
留意事項

●モデムと他の機器を接続するときは、機器の電源を切った状態で行うこと。
電源を入れたまま接続すると、故障の原因となり発煙、発火の可能性があります。

パソコンの電源が入った状態で本モデムをカードスロットへ差し込むと、インストール途中で止まってしまうことがあります。必ずパソコンの電源を切った状態で確認をしてください。

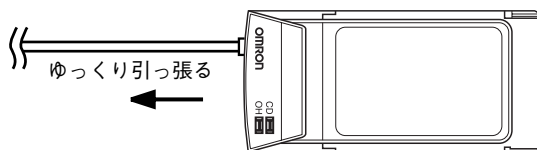
2 電話回線への接続

まめ知識

ホテルやオフィスで使用されているデジタルPBXなどの電話回線の種類によっては、モデムを接続するとモデムが破損する場合があります。事前にホテルやオフィスの管理者に一般公衆回線用モデムでも使用できるか確認されることをおすすめします。

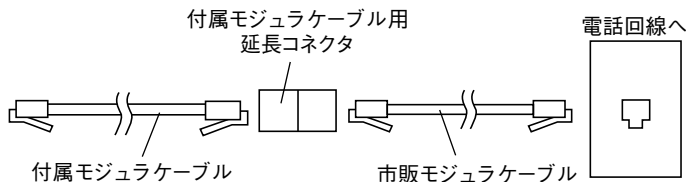
本モデムのモジュラジャックに電話回線を接続してください。

3 モデム本体をパソコンのPCカードスロットに奥までしっかり挿入します。

留意事項

● パソコン側PCカードスロットはパソコンによって、位置が異なります。カードスロットの位置は、パソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

4 本モデムをパソコンから取り外します。
本モデムからモジュラケーブルを抜くときには、無理に引き抜かないでモジュラケーブルのツメをつまんだ状態で、ゆっくりまっすぐ引っ張ってください。（コネクタはロックタイプです。無理に引き抜くと、コネクタを破損します。）

ここでは、接続方法の確認のみを行います。実際の接続は「◇STEP1 ドライバをインストールする」以降で行います。

●モジュラケーブルが短い場合

市販のモジュラケーブル、付属のモジュラケーブル用延長コネクタをご利用いただき、以下のように接続してください。

ケーブルは６極４芯または６極２芯タイプをお買い求めください。

留意事項

- 本モデムはNTTの電話回線と電気的条件が異なる通信回線では、使用できません（ボタン電話、ビジネスホン、キーテレホン、ホームキーテレホン、家庭用キーテレホン等）。一般の家庭用の電話回線（ダイヤル式やプッシュ式電話）は、そのまま接続できます。

  接続する前に電話装置メーカや保守業者にご相談ください。
- 本モデムはPBX内線で使う場合、回線の電気的条件がNTTの電話回線と同じでなければ動作しません。本モデムは、極性反転がない回線にも接続できるように設計されていますが、呼出信号の電圧や周期、ダイヤルトーンやビジートーンなどについては、NTTの仕様に準拠しています。従ってこれらの仕様がNTTの回線と極端に異なる場合には、これらの信号を認識できないことがあります。詳しくは、PBXの製造メーカや保守業者に問い合わせてください。

●セットアップをする…Windows®Server™2003/XP/2000

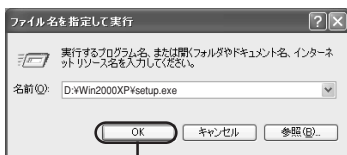
◇STEP1 ドライバをインストールする (Windows®Server™2003/XP)

留意事項

● パソコンやシステムの状態によっては、インストールの手順や画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。

ME5614C2の「ドライバ（INFファイル）」をパソコンにインストールします。
パソコンと**本モデムはまだ接続しないでください。**
既にパソコンに本モデムを差し込んでしまった場合は、P31の手順を確認してください。

1 パソコンを起動後、添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。（PCMCIAカードスロットタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合はP96をご覧ください。）

2 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。
名前に「D:¥Win2000XP¥setup.exe」と入力し、「OK」をクリックしてください。

ここではDドライブをCD-ROMドライブとしていますが、お使いのパソコンによってはドライブ名が異なります。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのドライブをご確認ください。

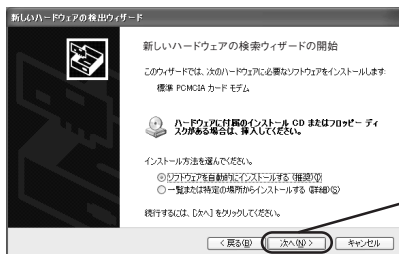
3 「OMRON ME5614C2 InstallShield ウィザード」画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。

4 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら「インストール」をクリックしてください。

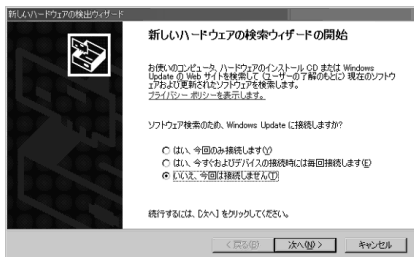
5 「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されます。
「完了」をクリックしてください。

「完了」をクリックしたら、CD-ROM ドライブからCD-ROMを取り出してください。

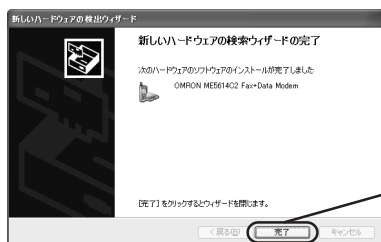
6 本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。
画面右下にポップアップ画面（新しいハードウェアが見つかりました ....）が表示されます。

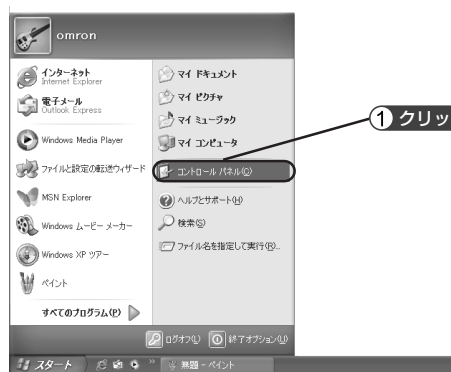
7 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

＜ Windows®XP SP2 (ServicePack2)の場合＞

Windows®XP SP2 の場合は下記画面が出る場合がございます。

「いいえ、今回は接続しません（T）」にチェックし、「次へ」をクリックしてください。

8 表示された一覧の中から、一番上段の「OMRON ME5614C2 Fax + Data Modem」（場所 C:¥windows¥inf¥mdmomrc2.inf）を選び、「次へ」をクリックしてください。

9 「Windowsロゴテストに合格していません。」と表示されますが、「続行」をクリックしてください。

10「完了」をクリックしてください。

以上で ME5614C2 のインストールが完了しました。

11 ドライバが正しくインストールされたことを確認します。
「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックし、コントロールパネルを開きます。

12 「電話とモデムのオプション」をダブルクリックしてください。

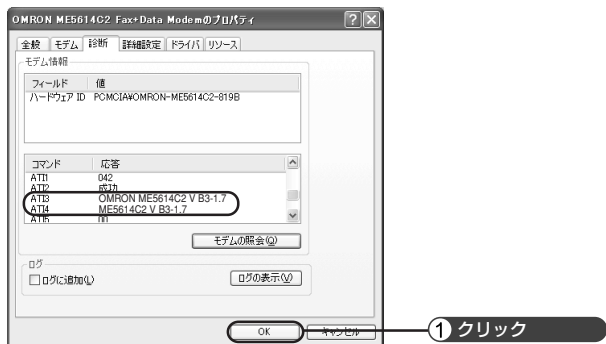
下記の画面が表示されない場合には、画面左上のコントロールパネルで「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

13 「モデム」タブをクリックしてください。

セットアップしたモデムがリストにあることを確認します。
セットアップしたモデム「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

14 「診断」タブをクリックし、[モデムの照会] をクリックしてください。

15 「応答」欄の中に、「OMRON ME5614C2」が表示されていることを確認します。（ATI3, ATI4 以外は、機種によって表示内容が異なります。）

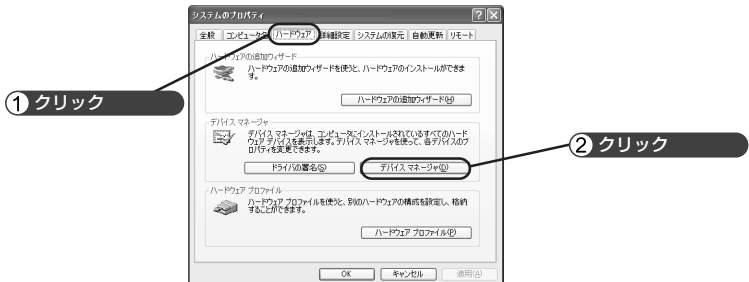
表示されていれば、インストールは完了です。
確認後「OK」をクリックしデスクトップ画面に戻ってください。

手順 5 で取り出した CD-ROM は、大切に保管してください。

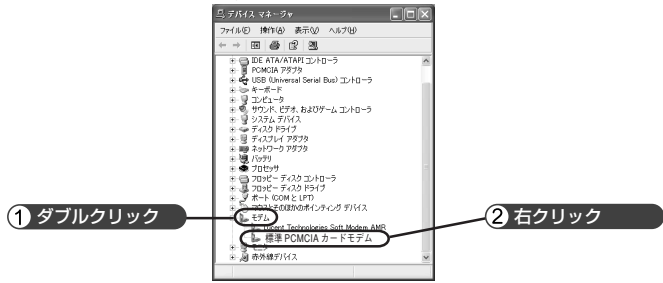
留意事項

- ※手順 1 〜 4 を行う前にモデム本体をパソコンに接続してしまいますと、正常にインストールすることができません。次ページの手順で削除してください。

●既に本モデムをパソコンに差し込んでしまった場合

添付ドライバの“setup.exe”を起動する前に、本モデムをパソコンに挿入してしまった場合、異なるドライバがインストールされてしまいます。この場合、以下の手順で異なるドライバの削除を行ってください。この時、本モデムはパソコンに挿入したままにしてください。

1 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックしてください。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

3 「モデム」をダブルクリックして、「標準 PCMCIA カードモデム」または、「① OMRON ME5614C2」を右クリックし、「削除」をクリックし、「OK」で削除を実行してください。

4 削除した後は、パソコンから本モデムを抜いてください。
P25 を参考にインストールを行ってください。

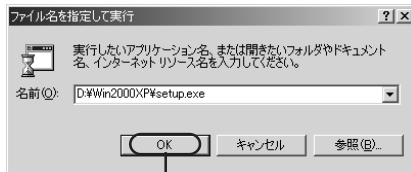
◇STEP1 ドライバをインストールする(Windows®2000)

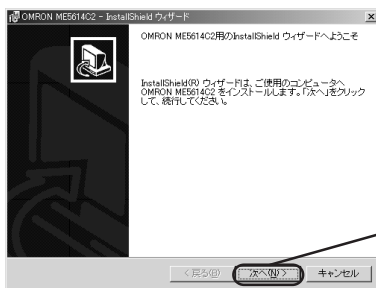
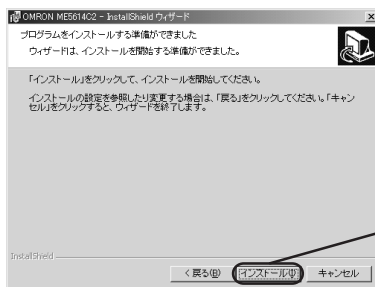
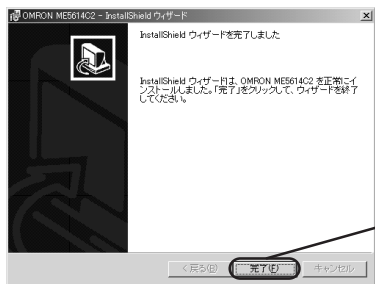
留意事項

- パソコンやシステムの状態によっては、インストールの手順や画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。

ME5614C2の「ドライバ（INFファイル）」をパソコンにインストールします。
パソコンと**本モデムはまだ接続しないでください。**
既にパソコンに本モデムを差し込んでしまった場合は、P36の手順を確認してください。

1 パソコンを起動後、添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。（PCMCIAカードスロットタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合はP96をご覧ください。）

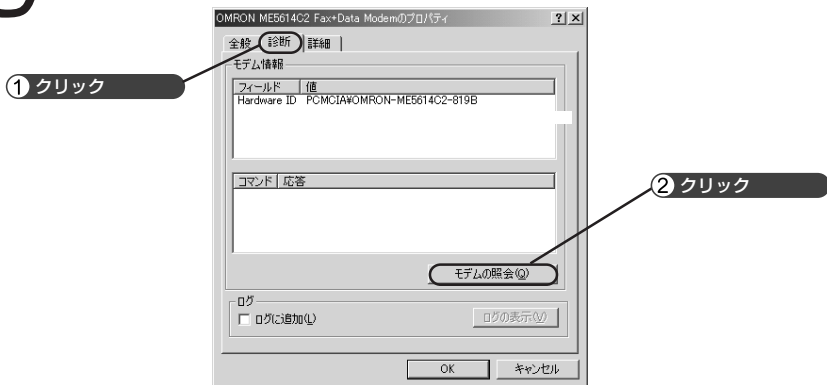
2 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。
名前に「D:￥Win2000XP￥setup.exe」と入力し、「OK」をクリックしてください。

ここではDドライブをCD-ROMドライブとしていますが、お使いのパソコンによってはドライブ名が異なります。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのドライブをご確認ください。

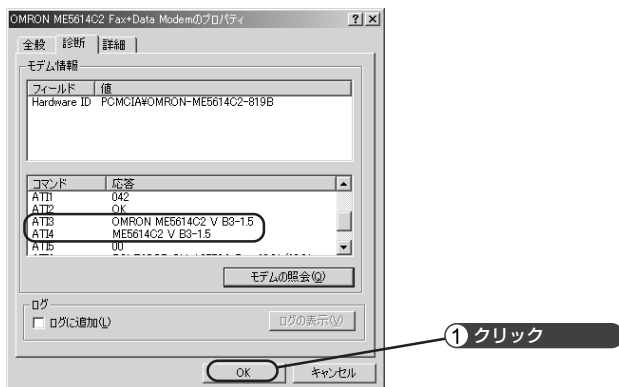
3 「OMRON ME5614C2 InstallShield ウィザード」画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。

4 「インストール」をクリックしてください。

5 「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されます。
「完了」をクリックしてください。

6 本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。
ドライバのインストールが開始されます。
以下の画面が表示される場合には、「はい」をクリックしてください。

以上で ME5614C2 のインストールが完了しました。

7 ドライバが正しくインストールされたことを確認します。
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「電話とモデムのオプション」の順にダブルクリックしてください。

8 「モデム」タブをクリックしてください。
セットアップしたモデムがリストにあることを確認します。
セットアップしたモデム（例：OMRON ME5614C2）を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

9 「診断」タブをクリックし、[モデムの照会] をクリックしてください。

10 「応答」欄の中に、「OMRON ME5614C2」が表示されていることを確認します。（ATI3, ATI4 以外は、パソコンによって表示内容が異なります。）

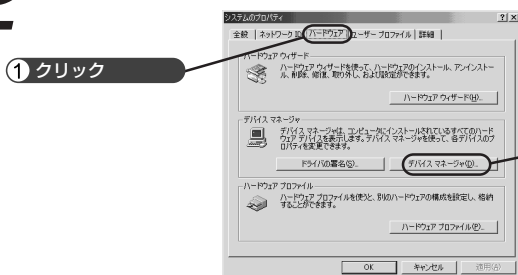
表示されていれば、インストールは完了です。
確認後「OK」をクリックし、デスクトップ画面へ戻ってください。

CD-ROM はパソコンより取り出し、大切に保管してください。

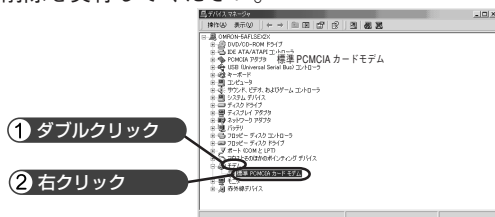
留意事項

- 手順 1 ～ 4 を行う前にモデム本体をパソコンに接続してしまいますと、正常にインストールすることができません。次ページの手順で削除してください。
- 「モデムの照会」で正しく結果表示の画面が出てこない場合は、パソコンを終了し、本モデムを抜き、再度奥まで押し込み直してから、パソコンを起動してください。

●既に本モデムをパソコンに差し込んでしまった場合

添付ドライバの“setup.exe”を起動する前に、本モデムをパソコンに挿入してしまった場合、異なるドライバがインストールされてしまいます。この場合、以下の手順で異なるドライバの削除を行ってください。この時、本モデムはパソコンに挿入したままにしてください。

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックしてください。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

3 「モデム」をダブルクリックして、「標準 PCMCIA カードモデム」または、「① OMRON ME5614C2」を右クリックし、「削除」をクリックし「OK」で削除を実行してください。

4 削除した後は、パソコンから本モデムを抜いてください。
P32 を参考にインストールを行ってください。

◇STEP2　ダイヤルアップネットワークを設定する

ここではダイヤルアップネットワークの作成方法を説明しています。

●既に専用の接続ソフトをご使用の場合は、接続ソフトの取扱説明書を参照いただき、モデムおよびアクセスポイントの変更を行ってください。

以下は、Windows®Server™2003/XP の画面で説明しています。Windows®2000 をお使いの方は、以下を参考にして設定してください。

1 「ダイヤルアップネットワーク」設定画面を開く

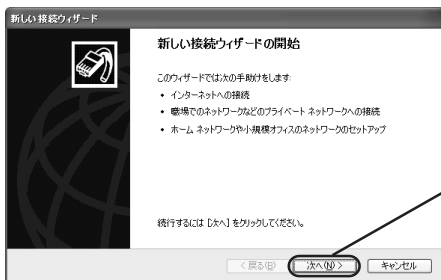
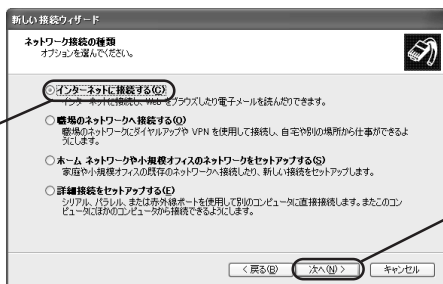
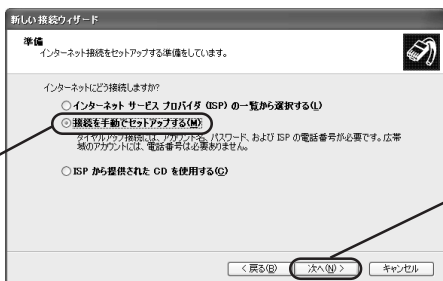
Windows®Server™2003/XP「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」をダブルクリックしてください。

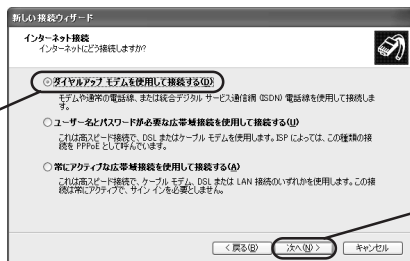
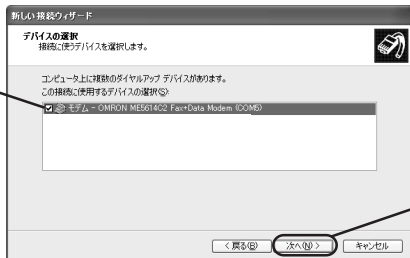
Windows®2000 ....「スタート」→「設定」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックしてください。

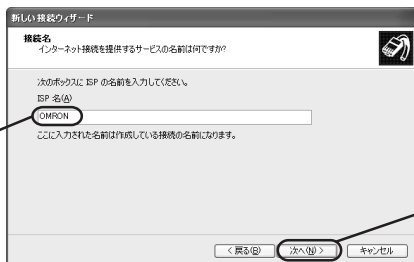
2 「新しい接続方法を作成する」をクリックしてください。

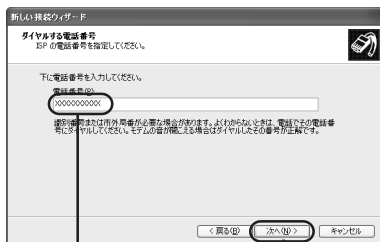
Windows®2000 .....「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックしてください。

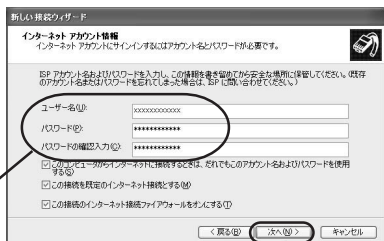
＊ご使用のパソコンによっては所在地情報の入力画面が表示されることがあります。必要に応じて入力し、「OK」をクリックしてください。

3 「次へ」をクリックしてください。
Windows®2000 .....「ネットワーク接続ウィザードの開始」の画面で「次へ」をクリックしてください。

4 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
Windows®2000 .....「インターネットにダイアルアップ接続する」を選択してください。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
Windows®2000 .....「インターネット接続を手動で設定するかまたは ...」を選択してください。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

Windows®2000 ......「電話回線とモデムを使って ...」を選択してください。

7 「OMRON ME5614C2 Fax + Data Modem」のみにチェックマークをつけて、「次へ」をクリックしてください。他のモデムにチェックが入っている場合は外してください。
（お使いの PC によっては、7 の画面が表示されずに 8 の画面へ自動的に進む場合がありますが、そのまま続けて設定を行ってください。）

8 「ISP 名」欄に「接続名」（プロバイダ名等、この例では「OMRON」）を入力し、「次へ」をクリックしてください。

Windows®2000 ..... この画面は手順 10 の次に表示されます。

［電話番号］欄にプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。

Windows®2000の方は、「市外局番」欄はブランク（空欄）にしてください。

10 ［ユーザー名］と［パスワード］、［パスワードの確認入力］を入力し、「次へ」をクリックしてください。

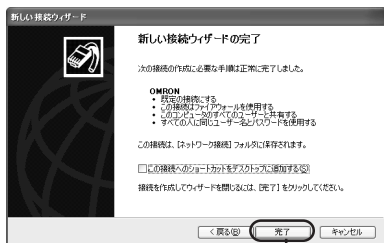
Windows®2000の方は「インターネットメールアカウントの設定」画面が表示されます。「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

① 入力

② クリック

11 「完了」をクリックしてウィザードを終了してください。

以上でネットワーク接続設定が完了しました。

Windows®2000の方は、「今すぐインターネットに接続する ...」のチェックを外してください。

FAX送信などにご利用の方は以上でセットアップ終了です。

インターネットに接続する方は、次の【STEP 3】へお進み下さい。

◇STEP3　インターネットへ接続する

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとしてインターネットエクスプローラ6.0（以下IE6.0）を使用します。Windows®Server™2003/XPの画面で説明しています。

1 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」をダブルクリックしてください。Windows®2000の方は「スタート」→「設定」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックしてください。
P39で入力したISP名「OMRON」アイコンが表示されます。

2 「OMRON」アイコンをダブルクリックしてください。「ユーザー名（プロバイダから通知されたユーザID）」と「パスワード」が入っていることを確認してください。入力を確認したら「ダイヤル」をクリックしてください。
すると、接続が開始されます。
接続ができない場合はP99「●お困りのときには」をご参照ください。

① クリック

まめ知識

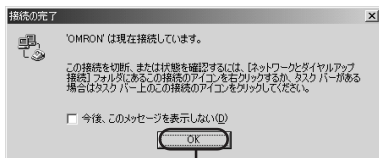
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」をチェックすると、再接続の際、パスワードを入力する手間がなくなります。
- Windows®2000の場合、パスワードは「＊」で表示されます。実際のパスワード文字数より多く表示されます。

補足

電話回線をパルス式でご契約の方は、プロバイダへの接続を開始する前に設定を「パルス」にしてください。「ダイヤルアップ」の「プロパティ」をクリックし、「ダイヤル情報を使う」にチェックを入れ、ダイヤル方式で「パルス」を指定してください。

●エラーメッセージが表示される

『発信音がありませんでした』⇒P102のQ2参照
『リモートコンピュータが応答しませんでした』⇒P104のQ4参照
『ユーザ名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした』⇒P105のQ5参照

3 プロバイダに接続されると、接続の完了ダイヤログが表示されますので「OK」をクリックしてください。また、画面右下にあるタスクバーにダイヤルアップアイコン（のマーク）が表示されます。

4 プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ画面にあるIE6.0アイコンをダブルクリックしてください。ブラウザ（この例ではIE6.0）が起動します。
（デスクトップ画面にない場合は、「スタート」→「インターネット」をクリックしてください。）
インターネットエクスプローラのアドレス欄に「http://www.omron.co.jp/ped-j/」と入力してください。オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。

留意事項

●WWWブラウザソフトの操作は、ソフトの取扱説明書などを参照してください。

5 IE6.0を終了します。

「ファイル」メニューの中から「閉じる」を選択してください。

6 電話回線を切断します。

デスクトップ画面右下にあるタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコン をダブルクリックしてください。

「OMRONの状態」画面が表示されます。

7 「切断」をクリックしてください。「XXXXへの切断を終了しますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

留意事項

● 上記5項でIE6.0を終了しただけでは、アクセスポイントへの電話は切断されません。電話がつながった状態が続き、電話料金が加算されます。必ず上記7項の電話回線の切断を実行してください。

●セットアップをする Windows®Me/98/95

◇STEP1 ドライバをインストールする（Windows®Me）

ME5614C2の「ドライバ(INFファイル)」をパソコンにインストールします。
本モデムは、「プラグ＆プレイ」対応です。カードをスロットに挿入すると、自動的に認識され、ドライバのインストールが開始されます。

留意事項

● 本モデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。
お手持ちのパソコンに合わせて、本モデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
● パソコンのレジューム機能は使わないでください。本モデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない場合があります。その時はパソコンを再起動してください。

1 パソコンの電源をOFFの状態にし、本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。
（PCMCIAカードスロットタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合はP95をご覧ください。）

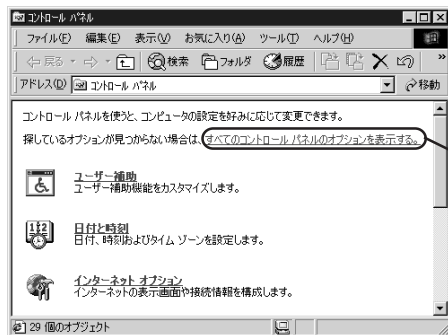
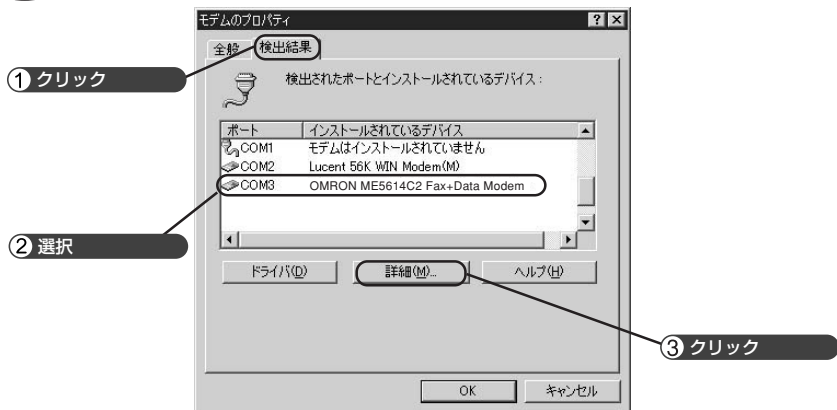
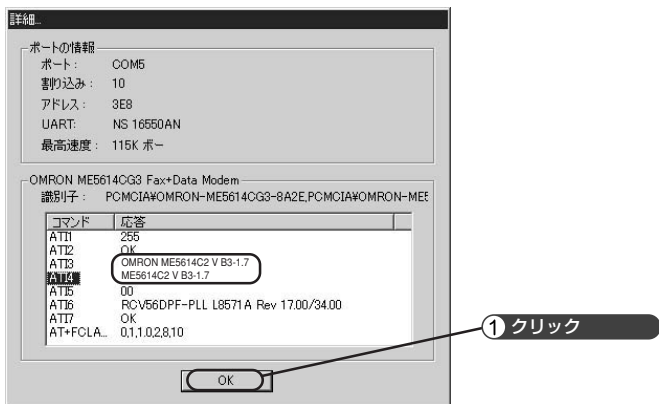
2 パソコンの電源をONにして、Windows®Meを起動してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。添付CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。「適切なドライバを自動的に検索する」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

3 インストールの完了

インストールプログラムが自動的に起動し、ドライバがインストールされます。以下の画面が表示されたら、「完了」をクリックしてください。

以上で ME5614C2 のインストールが完了しました。

4 ドライバが正しくインストールされたことを確認します。

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「モデム」の順にダブルクリックしてください。（初めてWindows®Meをお使いの方はコントロールパネルをダブルクリック後、以下の場所をクリックしてください。）

5 「検出結果」タブをクリックしてください。ME5614C2が表示されているポートのアイコンをクリックして「詳細」をクリックしてください。

6 「詳細」画面が表示されます。
「応答」欄の中に、「OMRON ME5614C2」が表示されていることを確認します。（ATI3, ATI4 以外は、パソコンによって表示内容が異なります。）
表示されていれば、インストールは完了です。「OK」をクリックしてください。
「プロパティ」画面に戻りますので「OK」をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。

CD-ROM はパソコンより取り出し、大切に保管してください。

◇STEP1 ドライバをインストールする（Windows®98）

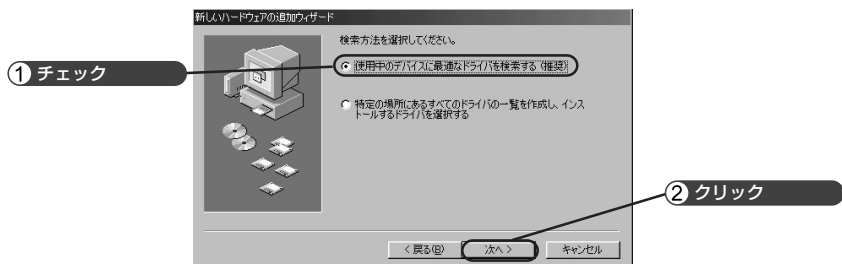
ME5614C2の「ドライバ (INF ファイル)」をパソコンにインストールします。
本モデムは、「プラグ＆プレイ」対応です。カードをスロットに挿入すると、自動的に認識され、ドライバのインストールが開始されます。

留意事項

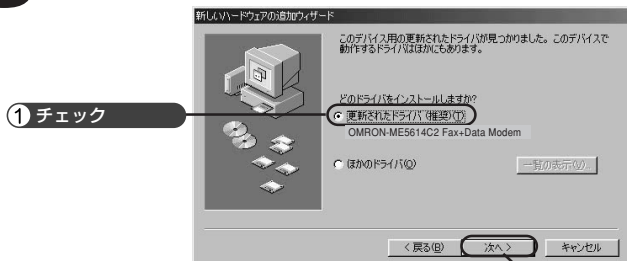
- 本モデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。
  お手持ちのパソコンに合わせて、本モデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
- パソコンのレジューム機能は使わないでください。本モデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない場合があります。その時はパソコンを再起動してください。

1 パソコンの電源をOFFの状態にし、本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。
（PCMCIAカードスロットタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合はP96をご覧ください。）

2 パソコンの電源をONにして、Windows®98を起動してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

4 添付CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。「検索場所の指定」のみをチェックし、「D:¥Win9xNT」と入力し、「次へ」をクリックしてください。

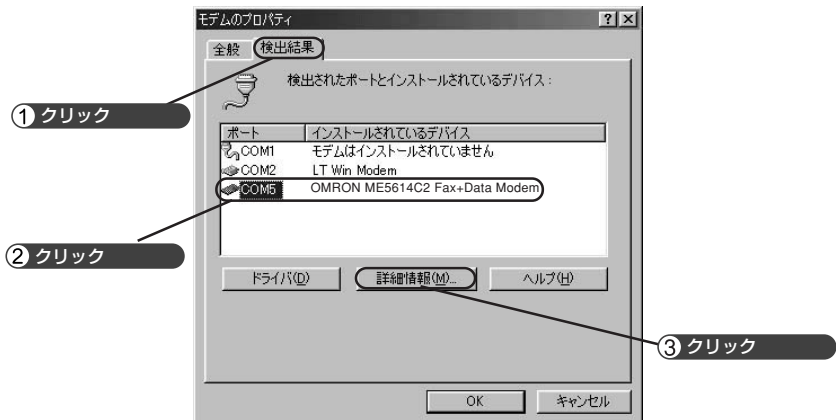
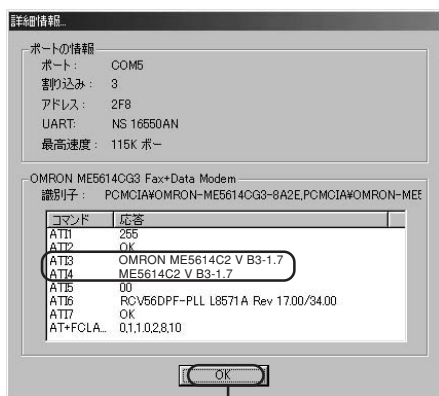
ここではDドライブをCD-ROMドライブとしていますが、お使いのパソコンによってはドライブ名が異なります。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのドライブをご確認ください。

5 「更新されたドライバ（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

6 「次へ」をクリックしてください。

7 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。「完了」をクリックしてください。

以上で ME5614C2 のインストールが完了しました。

8 ドライバが正しくインストールされたことを確認します。
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「モデム」の順にダブルクリックしてください。

9 「検出結果」タブをクリックしてください。ME5614C2 が表示されているポートのアイコンをクリックして「詳細情報」をクリックしてください。

10 「詳細情報」画面が表示されます。
「応答」欄の中に、「OMRON ME5614C2」が表示されていることを確認します。（ATI3, ATI4 以外は、パソコンによって表示内容が異なります。）
表示されていれば、インストールは完了です。「OK」をクリックしてください。
「プロパティ」画面に戻りますので「OK」をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。

CD-ROM はパソコンより取り出し、大切に保管してください。

「OMRON ME5614C2」が表示されない場合は、「お困りのときには」P99のQ1を参照してください。

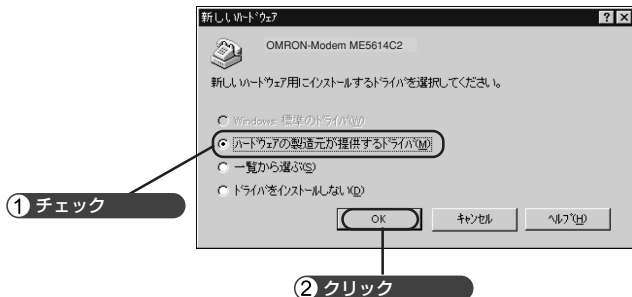
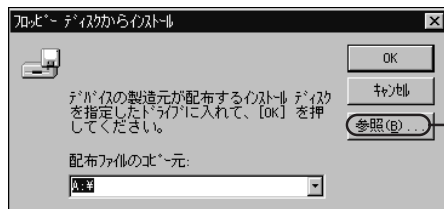
◇STEP1 ドライバをインストールする（Windows®95）

ME5614C2 の「ドライバ (INF ファイル)」をパソコンにインストールします。
本モデムは、「プラグ＆プレイ」対応です。カードをスロットに挿入すると、自動的に認識され、ドライバのインストールが開始されます。

留意事項

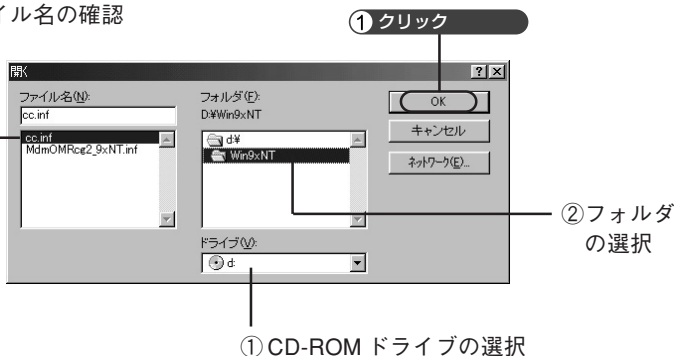
- 本モデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。
お手持ちのパソコンに合わせて、本モデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
- パソコンのレジューム機能は使わないでください。本モデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない場合があります。その時はパソコンを再起動してください。
- インストール中に Windows®95 の CD-ROM が必要になることがあります。

1 パソコンの電源をOFFの状態にし、本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。
（PCMCIAカードスロットタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合はP96をご覧ください。）

2 パソコンの電源を ON にして Windows®95 を起動してください。
添付 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。
「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」をチェックし、「OK」をクリックしてください。

3「参照」をクリックしてください。

①「ドライブ」欄からCD-ROMドライブを選択します（この例ではD:ドライブがCD-ROMドライブです。）。

②「フォルダ」欄より「Win9xNT」フォルダをダブルクリックしてください。

③「ファイル名」に「cc.inf」と表示されます。

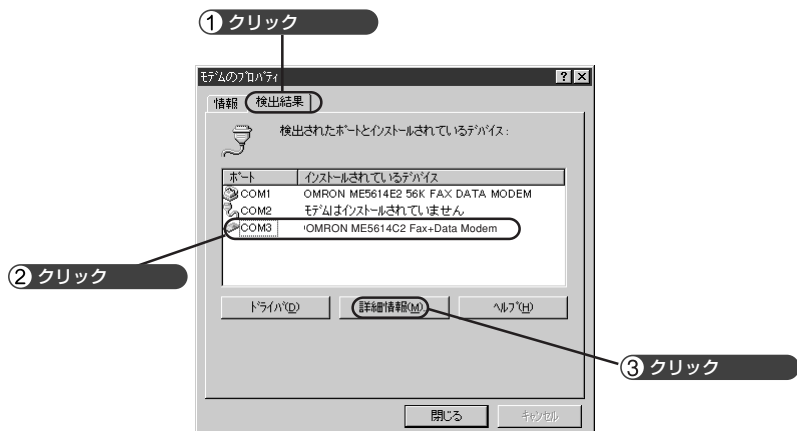
④「OK」をクリックしてください。

次の画面が表示されましたら「OK」をクリックしてください。

以上でME5614C2のインストールが完了しました。

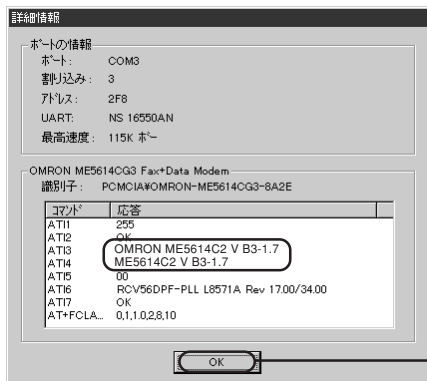
4 ドライバが正しくインストールされたことを確認します。

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「モデム」の順にダブルクリックしてください。

5 「検出結果」タブをクリックしてください。

ME5614C2が表示されているポートのアイコンをクリックして、「詳細情報」をクリックしてください。

「詳細情報」画面が表示されます。

「ME5614C2」が表示されていることを確認します。（ATI3、ATI4以外はパソコンによって表示内容が異なります。）

表示されていればインストール完了です。「OK」をクリックしてください。「プロパティ」画面に戻りますので「OK」をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。

CD-ROMはパソコンより取り出し、大切に保管してください。

「OMRON ME5614C2」が表示されない場合は、「お困りのときには」P99のQ1を参照してください。

◇STEP2　ダイヤルアップ ネットワークを設定する

ここではダイヤルアップネットワークの作成方法を説明しています。

- 既に専用の接続ソフトをご使用の場合は、接続ソフトの取扱説明書を参照いただき、モデムおよびアクセスポイントの変更を行ってください。
- ダイヤルアップネットワークがインストールされていない場合は、Windows®Me/98/95のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」からインストールしてください。「Windowsファイル」タブ→「通信」→「詳細」→「ダイヤルアップネットワーク」を選択し、「OK」をクリックしてインストールした後、以下の設定を行ってください。詳しいインストール方法はパソコン等の取扱説明書をご参照ください。

1　「ダイヤルアップネットワーク」設定画面を開く

Windows®Me……「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。

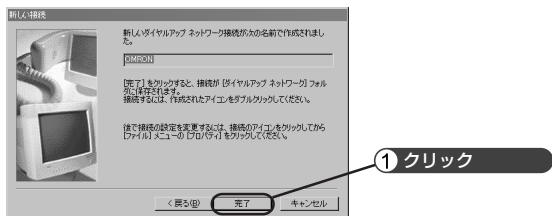
Windows®98/95…「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。

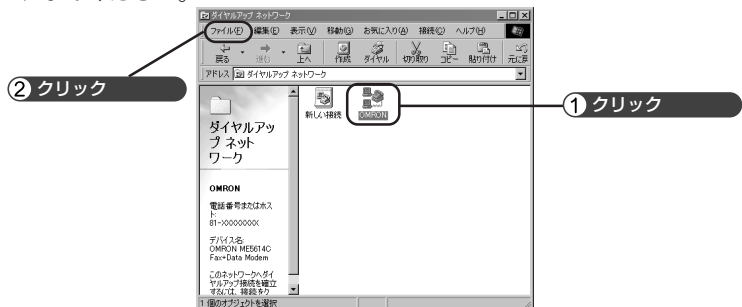
2　「新しい接続」をダブルクリックしてください。

3 「接続名」欄に接続名（プロバイダ名等：この例では「OMRON」）を入力してください。「モデムの選択」欄の▼ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

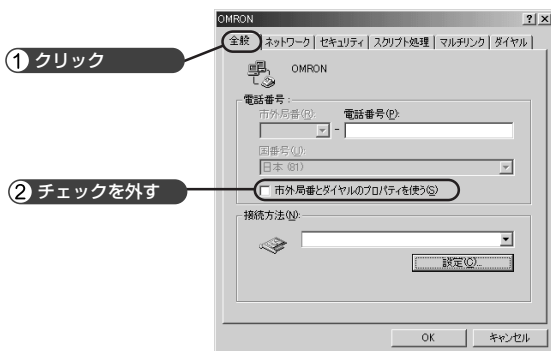
4 「市外局番」欄、「電話番号」欄、「国番号」欄を入力して「次へ」をクリックしてください。

「電話番号の入力」欄

- 市外局番 ... ブランク(空欄にします。)
- 電話番号... アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力
- 国番号..... ▼ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「日本国(81)」を選択してください。

5 「完了」をクリックしてください。

6 「ダイヤルアップネットワーク」画面に新しいアイコンが追加されます。新しく追加されたアイコンをクリックし、「ファイル」→「プロパティ」をクリックしてください。

7 「全般」タブをクリックしてください。
「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外してください。OSによって、表現が異なります。

Windows®Me/98 ....「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」

Windows®95 ....「国番号と市外局番を使う」

8 「ネットワーク」タブまたは「サーバーの種類」タブをクリックしてください。OSによって表現が異なります。「使用できるネットワークプロトコル」欄の「TCP/IP」だけチェックし、「TCP/IP設定」をクリックしてください。

ただし、この画面の設定内容は、プロバイダによって異なります。
詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

9 「ネームサーバーアドレスを指定する」をチェックし、「プライマリ DNS」にプロバイダから与えられたDNSアドレス（例：123.45.67.89）を入力し、「OK」をクリックしてください。

まめ知識

Windows®Meの場合は、上記8項の画面のセキュリティタブをクリックし、「認証」欄の「ユーザー名」、「パスワード」を入力しますと、P60のユーザ名/パスワード入力が事前に設定できます。

続けて「OK」をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。
以上で「ダイヤルアップネットワーク」の設定は完了しました。

FAX送信などにご利用の方は以上でセットアップ終了です。

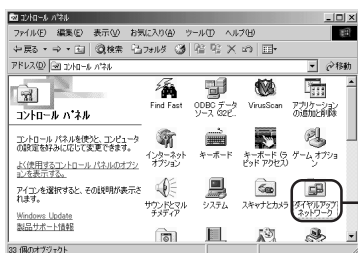
インターネットに接続する方は、次の【STEP 3】へお進み下さい。

◇STEP3　インターネットへ接続する

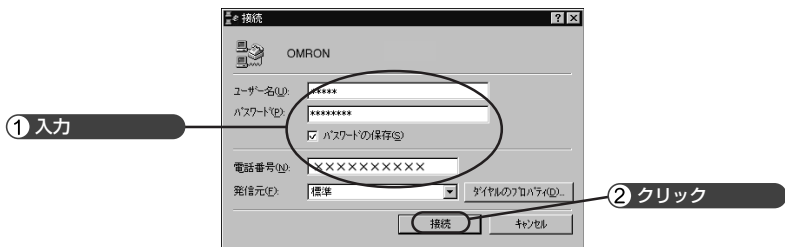
インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用した場合の接続例をご紹介します。

1　「ダイヤルアップネットワーク」設定画面を開く

Windows®Me ....「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。

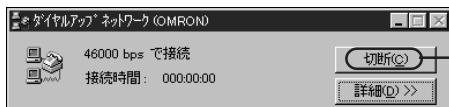
Windows®98/95 .....「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。

2　「ダイヤルアップネットワーク」の中から「OMRON」(P57の3で入力した接続名のアイコン)をダブルクリックしてください。

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「接続」をクリックしてください。57ページの4で設定したアクセスポイントへのダイヤルが始まり、接続が開始されます。

「パスワードの保存」をチェックすると、再接続の際パスワードを入力する必要はなくなります。

3 接続が完了すると、画面右下にあるタスクバーにダイヤルアップアイコンが表示されます。

4 デスクトップ上のブラウザのアイコンをダブルクリックしてください。
ブラウザ（この例では「インターネットエクスプローラ」）が起動します。
「インターネットエクスプローラ」のアドレス欄に
「http://www.omron.co.jp/ped-j/」と入力してください。
オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。

5 「インターネットエクスプローラ」を終了する。
「ファイル」メニューの中から「閉じる」をクリックしてください。

6 電話回線を切断する。
「接続」画面の「切断」をクリックしてください。アクセスポイントへの電話が切断されます。

「接続」画面が表示されていない場合は、画面右下のタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコンをダブルクリックしてください。

留意事項

● 上記の5項で「インターネットエクスプローラ」を終了しただけでは、アクセスポイントへの電話は切断されません。電話がつながった状態が続き、電話料金が加算されます。必ず上記の6項の電話回線の切断を実行してください。

●セットアップをする...Windows NT®4.0

◇STEP1 パソコン、Windows NT®4.0の状態を確認する

「コントロールパネル」に「PC カード(PCMCIA)」の表示があり、PC カードが使用できる状態にあることを確認します。「PC カード(PCMCIA)」の表示がない場合、パソコンの取扱説明書にしたがって Windows NT®4.0 の PCMCIA 設定を行ってください。
（詳細はパソコンの取扱説明書、Windows NT®4.0 の取扱説明書をご覧ください。）

◇STEP2 ME5614C2の挿入とWindows NT®4.0へのログオン

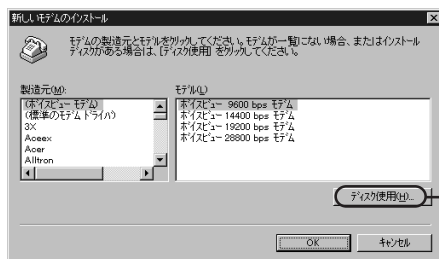
1 パソコンの電源をOFFの状態にし、本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。（Windows NT®4.0ではPCMCIAカードの抜き差しは必ず電源OFF状態で行います。）

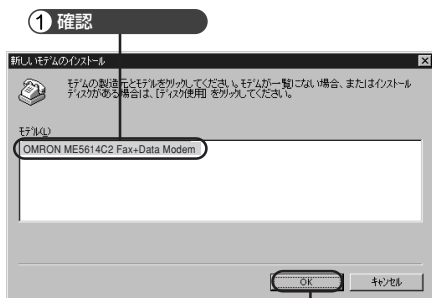
2 パソコンの電源をONにし、Windows NT®4.0を起動し、システムの管理が可能な Administrator レベルで Windows NT®4.0 へログオンします。
（詳細はパソコンの取扱説明書、Windows NT®4.0の取扱説明書をご参照ください。）

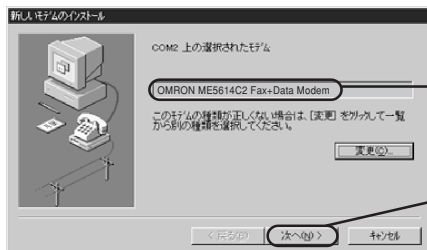
◇STEP3 モデムドライバをインストールする

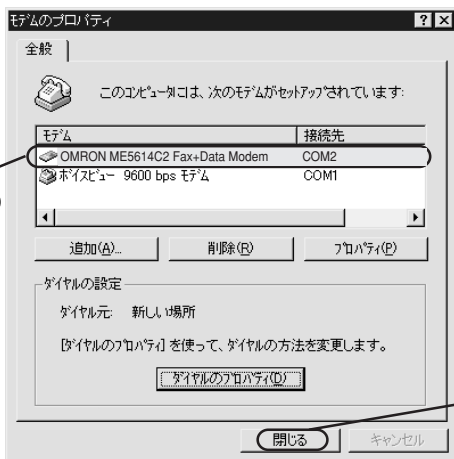
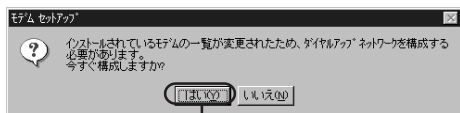
1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「モデム」をダブルクリックしてください。表示される「モデムのプロパティ」画面の「追加」をクリックします。
その次に、「新しいモデムのインストール」画面で「次へ」ボタンをクリックします。

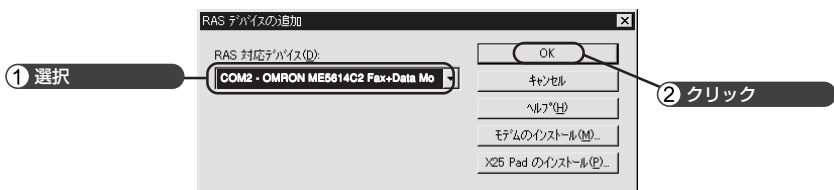
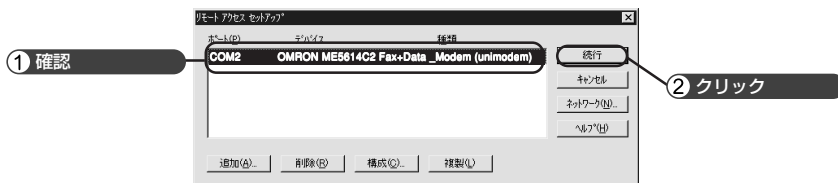
この画面が表示されない場合は「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックして「次へ」をクリックしてください。

2 「ディスク使用」をクリックしてください。

3 添付のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブに挿入してください。「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されたらファイル名に「D:¥Win9XNT」を入力して「OK」をクリックします。

内容が読み取られ、下図のように「OMRON ME5614C2 FAX+Data Modem」と表示されることを確認し「OK」をクリックしてください。

ここではDドライブをCD-ROMドライブとしていますが、お使いのパソコンによってはドライブ名が異なります。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのドライブをご確認ください。

4 下図のダイアログが表示されたら、機種名が「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」と表示されるのを確認して、「次へ」をクリックします。

5 「完了」をクリックしてください。

6 「モデムのプロパティ」画面にもどります。プロパティメニュー上に新たに「OMRON ME5614C2_Fax+Data Modem」と表示されることを確認します。確認後、「閉じる」をクリックしてください。

7 「モデムセットアップ」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。表示されない場合は、セットアップ作業の完了です。一度 Windows NT®4.0 を再起動させた後、モデムを使用できるようになります。

8 「リモートアクセスセットアップ」画面が表示されます。
「追加」をクリックしてください。

9 「RAS 対応デバイス」欄から「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」を選択し「OK」をクリックしてください。

10 「リモートアクセスセットアップ」画面に正しく「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」が表示されたことを確認し、「続行」をクリックしてください。

11 表示にしたがい Windows NT®4.0 を再起動します。
「はい」をクリックしてください。
以上で ME5614C2 のインストールが完了しました。

CD-ROM はパソコンより取り出し、大切に保管してください。